



楡紅葉 (はぜもみじ)

発行：令和6年3月7日（木）（文責） 校長 田中 克三



今号で3年生は最後です。カラー版は学校ホームページでご覧になれます。QRコードはこちら→

万感の思いを胸に巣立つ

～ いよいよ明日は、第77回卒業証書授与式 ～



明日、3月8日（金）はいよいよ第77回卒業証書授与式です。3年生にとっては、9年間の義務教育課程の締めくくりとなる式となります。前日となる7日（木）には、中学校3年間の教育課程を全うしたことを証明する3年生修了式を執り行いました。多くの3年生が県立高校一般選抜入試を終え、一息ついて気の合う仲間とゆっくり過ごしたいところですが、時は待ってくれません。中学校生活もこの2日間で締めくくりです。

今年の修了式では、一足早く進路が決定している3年生の中から代表2名に依頼し、決意発表をしてもらいました。両者が述べた「中学校からの巣立ちにあたり、心に思うこと」は次のとおりです。※字が小さくてすみません。

【私の目指す道】

私は、小学校の頃から看護師になりたいと思っています。だから、看護科のある高校を受験しました。私が看護師になりたいと思ったのは、祖母がきっかけでした。祖母は元看護師で、私が小さい頃、病気になるたび、けがをしたとき、専門的な知識を生かし優しく手当てをしてくれました。祖母は、私が小5の時に亡くなったのですが、小さい頃、親同様に私を支えてくれた祖母の姿を見て、私も祖母のような人になりたい、看護師になりたいと思うようになりました。

もう一つ、私が看護師になりたいと思う気持ちを強めたものがあります。それは、祖母が入院していた病院での看護師さんたちの姿です。私がお見舞いに行くと、体の具合がすぐれず、気が滅入りそうになる祖母や私たち家族にいつも笑顔で接し、その不安を取り除こうとする姿に、私は「なんてすごい人たちだ」と感銘を受けました。

そのような強い憧れをもって看護科への受験を決めたのですが、実際に入試直前まで成績が思うように伸びず、とても不安でした。成績が伸びなかった理由は自分の中にあります。誘惑に負けていたからです。家のリビングで家族がテレビを観ていたりと、つい一緒に観てしまう悪い癖がありました。何とか勉強を始めても、眠気に負けて、結局、思うようにやれない自分がいました。また、一番下の弟はまだ赤ちゃんなのですが、夜よく泣くので、私が抱っこしたりして時間を取られることもありました。

それでもこうして合格できたのは、周りの人の支えがあったからだと思います。私が教室で「もう、無理かも」と弱音を吐いた時、「〇〇さんなら大丈夫」と励ましてくれた友だち、家で勉強していると「夜食、いる？」とさりげなく声を掛けてくれた父や母、過去問を解いていてわからない時に丁寧に教えてくれた先生方、いろんな人のおかげでここまでたどり着けたと思っています。

合格が決まった今も、不安はあります。私が進む看護科は実習などもあり、5年後には国家試験もあるので道のりは長く、ハードルは高いです。実習と一口で言うけれど、どのようなことをするのか今はまだ想像もつかず、よくわかりません。自分にできるのか、不安です。また、中原中からその看護科に行くのは私だけなので、今までと同じように友だちができるのかも不安です。

でも、自分が決めた道だし、何があっても「看護師になる」という目標に向かって頑張っていきたいと思っています。私にきっかけをくれた祖母や看護師の方々のように、患者さんの気持ちに寄り添い、心から支えることができるような看護師になりたいと思っていますので、将来、そのような自分になるために高校生活を頑張っていきます。

3年1組生徒代表

【野球を通して学んだこと】

僕は、小学校2年生から野球を続けています。小学生の頃は、何もしなくてもスタメンで試合に出ることができましたけれど、中学生になると、それが当たり前ではなくなりました。試合に出られないのが悔しくて、練習に取り組む姿勢を変えました。僕の長所は守備力です。だから守備力を高めるために、日ごろのノックで今までなら捕れないと思ってあきらめていたボールも、最後まで追い続けることを実行しました。また、自分よりうまいと思う人をライバルと思って競い、常に上だけを指してやるように心がけました。おかげで、1年生で中総体に出ることができました。その後、中2から硬式のクラブチームに移籍しましたが、そこでも初めは試合に出ることができませんでした。でも、同じように試合に出られていなかったチームメイトと励まし合って努力を続け、3年生になったころには、スタメンで出ることができるようになりました。このことを通して、僕は最後まであきらめずに努力すれば、それが必ず結果として返ってくることを学びました。

もう一つ、野球を通して学んだことがあります。3年生の最後の試合、僕はピッチャーを任せられたのですが、相手の韓国代表の選手にホームランを打たれ、負けてしまいました。その打たれたボールは完全に自分のコントロールミスで、大きな悔いを残すことになりました。今思い返せば、「日ごろのキャッチボールで相手に投げる時、そこまでコントロールにこだわってやっていたら、それが大事な試合の大事な場面でも出てしまったな」と反省しています。このことから、僕は小さなことの積み重ねや日ごろの生活が大事だということを学びました。

勉強も同じです。僕は、勉強が大の苦手で、いつもやらないきゃいけないとわかっているのに、逃げてばかりでした。周りを見て刺激を受けるところか、勉強していない人を見つけては、自分も加わり、楽な方に流されてばかりでした。「頑張れば、いつか結果として返ってくる」という野球から学んだことの真逆をやっていました。

1回目の私立の試験で結果を出すことができず、さすがに「勉強せんば、やばい」と感じました。時間を見つけて、友だちや先生の力を借りながら基本的なことを繰り返し、何とか2回目のチャレンジで合格することができました。

合格した後、高校の校長先生に話してもらった機会がありました。校長先生は「勉強と部活動を両立するのは大変だ。でもできないことはない。まずは、目の前の授業を大切にすること。そして、宿題などやるべきことをこつこつとやって積み重ねること。」ということを言われました。僕は、「やっぱり、自分が野球で学んできたことと同じだ」と思いました。佐賀市まで毎日通い、レベルの高い強豪校で部活を続けることに不安を感じていましたが、今は心を決めました。日ごろの生活を大事にし、全体練習だけでなく自主練も積み重ねて、必ず甲子園に出場して、支えていただいた方々に恩返しをしたいです。

3年2組生徒代表

積み上げた自分の力を信じて

～3/5, 6 県立高校一般選抜入試～

3月5日(火)と6日(水)の両日、県立高校の一般選抜入試が実施されました。中原中からは10校に40名が受検。あいにくの雨で、会場周辺の道路が混雑する中、集合時間に間に合うか心配されましたが、インフルエンザ等の感染者もなく、無事に学力検査や面接に挑みました。



志望校への合格を目指し、これまで積み上げてきた自分の力を信じているのか、想像していたより落ち着いて見えた3年生の表情に、「きっと、努力は実る!」と確信しました。



【会場にて最後のアドバイス】



【履き慣れたスリッパも今日は戦友】

合格発表は、3月13日(水)9時となっています。

感謝を込めて、次の学年に

～内定組、教室等を清掃～



40名が県立入試に挑んでいる頃、一足先に志望校の合格内定を決めていた生徒たちは、1年間仲間と過ごした教室やトイレなどの清掃活動を行いました。



学校行事で勝ち取った賞状などの掲示物や机・椅子に貼られたネームシールも心を込めて丁寧に剥がし、見違えるようにきれいになりました。

ホワイトボードを毎日使用していると残る「黒ジミ」も逃しません。の卒業式のために、次年度使用する後輩のために、アルコールを活用して真っ白になるまで拭き上げていました。どうもありがとう!



感謝の心でいただきました

～2/29 3年生お祝い献立

3/4 3年生給食最終日～



2月29日(木)は、「3年生お祝い献立」ということで、スペシャルな給食が提供されました。

この日のメニューの「黒糖パン、ミネストローネ、れんこんサラダ」に加え、3年生のみ「ハンバーグ、オムレツ、ミニパフェ」が加わり、ボリューム満点。お盆に乗り切れない程でした(写真)。



【2/29の3年生お祝い献立】

また、3月4日(月)は、3年生にとって義務教育最後の給食でした。この日のメニューは、入試前の気合い入れとばかりに豆板醤の辛みが効いた人気の「焼肉炒め」がメインで、またまた3年生だけ「お祝いデザート」として「ミニケーキ」が付いていました。



【ラスト給食は韓国風焼肉だ!入試前に気合い入れ!】



【給食着もこれが最後?】

【食缶の中を空っぽにするぞ】

最後の1日に給食当番を任されたメンバーは、作っていただいた方々へ感謝の気持ちを込めて、スープに入っていた春雨を1本たりとも残すまいと、食缶が空になるまできれいに注ぎ分けておりました。

「いただきます」の号令後、おいしそうにほおばる3年生の姿もこれで見納め。給食センターの方々、関係者の皆様、子どもたちの健康と成長のためにおいしい給食を提供していただき、ありがとうございました。

3年間、毎日、ごちそうさまでした!

